



1 節 整式・分数式の計算

I 3 次の乗法公式と因数分解



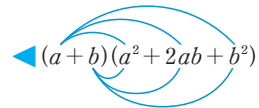
数学 I では、2 次の乗法公式や因数分解について学びました。ここでは、3 次の乗法公式や因数分解について学びます。

乗法公式

5

$(a+b)^3$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned}
 (a+b)^3 &= (a+b)(a+b)^2 \\
 &= (a+b)(a^2+2ab+b^2) \\
 &= a(a^2+2ab+b^2)+b(a^2+2ab+b^2) \\
 &= a^3+2a^2b+ab^2+a^2b+2ab^2+b^3 \\
 &= a^3+3a^2b+3ab^2+b^3
 \end{aligned}$$



10

よって、次の公式 [1] が成り立つ。また、 $(a-b)^3$ についても、同様に次の公式 [2] が成り立つ。

乗法公式

[1] $(a+b)^3 = a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$

[2] $(a-b)^3 = a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3$

15

●乗法公式を利用して、式を展開してみよう。

例 1

$$\begin{aligned}
 (\triangle + \bigcirc)^3 &= \triangle^3 + 3 \times \triangle^2 \times \bigcirc + 3 \times \triangle \times \bigcirc^2 + \bigcirc^3 \\
 (1) \quad (x + 2)^3 &= x^3 + 3 \times x^2 \times 2 + 3 \times x \times 2^2 + 2^3 \\
 &= x^3 + 6x^2 + 12x + 8
 \end{aligned}$$

20

$$\begin{aligned}
 (\triangle - \bigcirc)^3 &= \triangle^3 - 3 \times \triangle^2 \times \bigcirc + 3 \times \triangle \times \bigcirc^2 - \bigcirc^3 \\
 (2) \quad (3x - y)^3 &= (3x)^3 - 3 \times (3x)^2 \times y + 3 \times 3x \times y^2 - y^3 \\
 &= 27x^3 - 27x^2y + 9xy^2 - y^3
 \end{aligned}$$

問 1 次の式を展開しなさい。

→ p.17 復習問題□

(1) $(x+3)^3$

(2) $(x-1)^3$

25

(3) $(3x+1)^3$

(4) $(2x-y)^3$

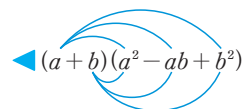
(5) $(2x+3)^3$

(6) $(3x-2)^3$

因数分解

$(a+b)(a^2-ab+b^2)$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned} & (a+b)(a^2-ab+b^2) \\ &= a(a^2-ab+b^2)+b(a^2-ab+b^2) \\ 5 \quad &= a^3-a^2b+ab^2+a^2b-ab^2+b^3 \\ &= a^3+b^3 \end{aligned}$$



この結果から、次の公式 [1] が得られる。また、 a^3-b^3 についても、同様に次の公式 [2] が成り立つ。

因数分解の公式

$$\begin{aligned} [1] \quad & a^3+b^3=(a+b)(a^2-ab+b^2) \\ [2] \quad & a^3-b^3=(a-b)(a^2+ab+b^2) \end{aligned}$$

● 因数分解の公式を利用して、式を因数分解してみよう。

例 2

$$\begin{aligned} & \triangle^3 + \circ^3 = (\triangle + \circ)(\triangle^2 - \triangle \times \circ + \circ^2) \\ (1) \quad x^3 + 8 &= x^3 + 2^3 = (x + 2)(x^2 - x \times 2 + 2^2) \\ &= (x + 2)(x^2 - 2x + 4) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \triangle^3 - \circ^3 = (\triangle - \circ)(\triangle^2 + \triangle \times \circ + \circ^2) \\ (2) \quad 8x^3 - 27y^3 &= (2x)^3 - (3y)^3 = (2x - 3y)\{(2x)^2 + 2x \times 3y + (3y)^2\} \\ &= (2x - 3y)(4x^2 + 6xy + 9y^2) \end{aligned}$$

問 2 次の式を因数分解しなさい。

→ p.17 復習問題②

$$\begin{aligned} (1) \quad & x^3 + 1 & (2) \quad & x^3 - 64 \\ (3) \quad & 8x^3 + 1 & (4) \quad & 27x^3 - y^3 \\ (5) \quad & 8x^3 + 27y^3 & (6) \quad & 64x^3 - 27y^3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \blacktriangleleft (1) \quad & 1 = 1^3 \\ (2) \quad & 64 = 4^3 \end{aligned}$$

2 二項定理



$(a+b)^2$, $(a+b)^3$ の展開式については、ここまで学びました。ここでは、 $(a+b)^n$ の展開式について考えます。

パスカルの三角形

$(a+b)^n$ の展開式を調べてみよう。

$$(a+b)^1 = a+b \quad \dots\dots\dots \rightarrow$$

$$(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2 \quad \dots\dots\dots \rightarrow$$

$$(a+b)^3 = a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3 \quad \dots\dots \rightarrow$$

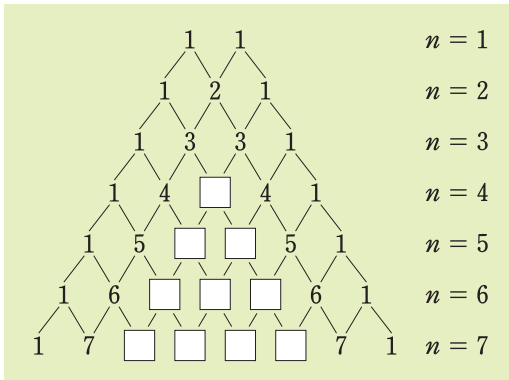
右の図のように、 $(a+b)^n$ の展開式の係数を三角形状に並べたものを、

パスカルの三角形 という。

パスカルの三角形では、次の規則が成り立っている。

- ① 各段の両端の数りょうたんはつねに1である。
- ② 各段の両端以外の数は、その左上の数と右上の数をたしたものである。

この規則にしたがってパスカルの三角形をつくっていくと、 n がいくつであっても、 $(a+b)^n$ の展開式をつくることができる。



5

10

15

問3 上のパスカルの三角形で、空らんをうめ、 $n=7$ の段まで完成しなさい。

20

●パスカルの三角形を利用して、式を展開してみよう。

例3 (1) $(a+b)^4 = a^4 + 4a^3b + 6a^2b^2 + 4ab^3 + b^4$

◀ 係数は 1 4 6 4 1

(2) $(a+b)^5 = a^5 + 5a^4b + 10a^3b^2 + 10a^2b^3 + 5ab^4 + b^5$

◀ 係数は
1 5 10 10 5 1

問4 パスカルの三角形を利用して、 $(a+b)^6$ を展開しなさい。

25

二項定理

一般に、記号 ${}_n C_r$ を次のように定める。

$${}_n C_r = \frac{\overbrace{n(n-1)(n-2)\cdots(n-r+1)}^{r \text{ 個}}}{r(r-1)\times\cdots\times 3\times 2\times 1}, \quad {}_n C_0 = 1$$

$\leftarrow {}_n C_r = {}_n C_{n-r}$

5 ● ${}_n C_r$ の値を求めてみよう。

例 4 (1) ${}_5 C_2 = \frac{5 \times 4}{2 \times 1} = 10$ (2) ${}_6 C_3 = \frac{6 \times 5 \times 4}{3 \times 2 \times 1} = 20$

問 5 次の値を求めなさい。

(1) ${}_6 C_2$ (2) ${}_5 C_3$ (3) ${}_7 C_5$

+ 解説

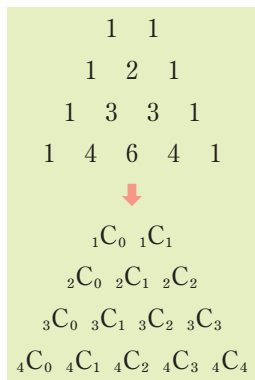
パスカルの三角形の $n = 4$ の段の数は、次のようになる。

10 ${}_4 C_0 = 1, \quad {}_4 C_1 = \frac{4}{1} = 4, \quad {}_4 C_2 = \frac{4 \times 3}{2 \times 1} = 6,$

${}_4 C_3 = \frac{4 \times 3 \times 2}{3 \times 2 \times 1} = 4, \quad {}_4 C_4 = \frac{4 \times 3 \times 2 \times 1}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 1$

$(a+b)^4$ の展開式は、 ${}_n C_r$ を用いると次のように表される。

$$\begin{aligned} (a+b)^4 &= a^4 + 4a^3b + 6a^2b^2 + 4ab^3 + b^4 \\ &= {}_4 C_0 a^4 + {}_4 C_1 a^3b + {}_4 C_2 a^2b^2 + {}_4 C_3 ab^3 + {}_4 C_4 b^4 \end{aligned}$$



15 一般に、次の **二項定理** が成り立つ。

二項定理

$$\begin{aligned} (a+b)^n &= {}_n C_0 a^n + {}_n C_1 a^{n-1}b + {}_n C_2 a^{n-2}b^2 + \cdots \\ &\quad + {}_n C_r a^{n-r}b^r + \cdots + {}_n C_{n-1} a b^{n-1} + {}_n C_n b^n \end{aligned}$$

● 二項定理を利用して、式を展開してみよう。

20 例 5 $(a+b)^5$

$$\begin{aligned} &= {}_5 C_0 a^5 + {}_5 C_1 a^4b + {}_5 C_2 a^3b^2 + {}_5 C_3 a^2b^3 + {}_5 C_4 ab^4 + {}_5 C_5 b^5 \\ &= a^5 + 5a^4b + 10a^3b^2 + 10a^2b^3 + 5ab^4 + b^5 \end{aligned}$$

$\leftarrow {}_5 C_4 = \frac{5 \times 4 \times 3 \times 2}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 5$

問 6 二項定理を利用して、 $(a+b)^6$ を展開しなさい。

\rightarrow p.17 復習問題③

3 分数式とその計算

分母に文字を含んだ式の計算について学びます。

分数式とその約分

$\frac{1}{a}$, $\frac{x-2}{x+5}$ などのように、分母に文字を含んだ式を

分数式 という。

分数式でも、分数と同じように分母と分子に共通な因数がある場合は、次のように **約分** できる。

$$\frac{A\cancel{C}}{B\cancel{C}} = \frac{A}{B}$$

● 分数式を約分してみよう。

例 6 (1) $\frac{y}{xy} = \frac{1}{x}$ (2) $\frac{4ab^2}{6a^3b} = \frac{2b}{3a^2}$

(3) $\frac{x^2-1}{x^2+x-2} = \frac{(x+1)\cancel{(x-1)}}{(x+2)\cancel{(x-1)}} = \frac{x+1}{x+2}$

◀ $\frac{4}{6} = \frac{2 \times \cancel{2}}{3 \times \cancel{2}} = \frac{2}{3}$

◀ (2) $\frac{2 \times \cancel{2} \times \cancel{a} \times b \times \cancel{b}}{3 \times \cancel{2} \times \cancel{a} \times a \times a \times \cancel{b}}$

◀ 因数分解してから約分する。

5

10

問 7 次の分数式を約分しなさい。

(1) $\frac{2x}{3xy}$ (2) $\frac{4a^5b^2}{12a^2b^3}$ (3) $\frac{x^2+x-6}{x^2+3x-10}$

乗法と除法

分数式の乗法と除法は、分数の場合と同じように、次のように計算する。

$$\frac{A}{B} \times \frac{C}{D} = \frac{AC}{BD}, \quad \frac{A}{B} \div \frac{C}{D} = \frac{A}{B} \times \frac{D}{C} = \frac{AD}{BC}$$

◀ $\frac{2}{3} \times \frac{4}{5} = \frac{2 \times 4}{3 \times 5} = \frac{8}{15}$

$\frac{3}{4} \div \frac{2}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{2} = \frac{15}{8}$
逆数をかける。

15

● 分数式の乗法を計算してみよう。

例 7 (1) $\frac{x-1}{x+1} \times \frac{x+1}{x-3} = \frac{(x-1)\cancel{(x+1)}}{(x+1)\cancel{(x-3)}} = \frac{x-1}{x-3}$

(2) $\frac{x+1}{x-2} \times \frac{x^2-2x}{x^2+3x+2} = \frac{\cancel{x+1}}{\cancel{x-2}} \times \frac{x\cancel{(x-2)}}{(x+1)(x+2)}$
 $= \frac{x}{x+2}$

◀ 分母や分子が因数分解できるときは、因数分解してから計算する。

20

問 8 次の式を計算しなさい。

→p.17 復習問題④

$$(1) \frac{x+1}{2x-1} \times \frac{2x-1}{x+5} \quad (2) \frac{x+2}{x^2-3x} \times \frac{x-3}{x^2+4x+4}$$

◀(2) 因数分解してから計算する。

●分数式の除法を計算してみよう。

例 8 (1) $\frac{x+5}{x-2} \div \frac{x+5}{x-6} = \frac{\cancel{x+5}}{x-2} \times \frac{x-6}{\cancel{x+5}}$

$$= \frac{x-6}{x-2}$$

(2) $\frac{x}{x^2-1} \div \frac{x-2}{x+1} = \frac{x}{(x-1)\cancel{(x+1)}} \times \frac{\cancel{x+1}}{x-2}$

$$= \frac{x}{(x-1)(x-2)}$$

問 9 次の式を計算しなさい。

→p.17 復習問題⑤

$$(1) \frac{x}{x-6} \div \frac{x}{x+1} \quad (2) \frac{x-7}{x^2+3x} \div \frac{x^2-49}{x+3}$$

◀(2) 因数分解してから計算する。

10 分母が等しい分数式の加法と減法

分母が等しい分数式の加法や減法は、分子の和や差を求めればよい。

$$\frac{A}{C} + \frac{B}{C} = \frac{A+B}{C}, \quad \frac{A}{C} - \frac{B}{C} = \frac{A-B}{C}$$

$$\begin{aligned} \leftarrow \frac{4}{7} + \frac{1}{7} &= \frac{4+1}{7} = \frac{5}{7} \\ \frac{4}{7} - \frac{1}{7} &= \frac{4-1}{7} = \frac{3}{7} \end{aligned}$$

●分母が等しい分数式の加法や減法を計算してみよう。

例 9 (1) $\frac{x-1}{x-2} + \frac{5}{x-2} = \frac{(x-1)+5}{x-2}$

$$= \frac{x+4}{x-2}$$

(2) $\frac{x-1}{x^2+x+2} - \frac{3}{x^2+x+2} = \frac{(x-1)-3}{x^2+x+2}$

$$= \frac{x-4}{x^2+x+2}$$

問 10 次の式を計算しなさい。

→p.17 復習問題⑥

$$(1) \frac{x-5}{x+3} + \frac{x^2+1}{x+3} \quad (2) \frac{2x+1}{x^2-1} - \frac{x-2}{x^2-1}$$

通分

2つ以上の分数式の分母をそろえることを^{つうぶん}通分という。

$$\leftarrow \frac{1}{2} = \frac{1 \times 3}{2 \times 3} = \frac{3}{6}$$

$$\frac{2}{3} = \frac{2 \times 2}{3 \times 2} = \frac{4}{6}$$

●分数式を通分してみよう。

例 10 $\frac{1}{x+1}$, $\frac{1}{x+2}$ を通分してみよう。

共通の分母は $(x+1)(x+2)$ とすればよいから

$$\frac{1}{x+1} = \frac{x+2}{(x+1)(x+2)}$$

$$\frac{1}{x+2} = \frac{x+1}{(x+1)(x+2)}$$

5

問 11 次の分数式を通分しなさい。

(1) $\frac{1}{x-1}$, $\frac{1}{x+3}$

(2) $\frac{1}{x+1}$, $\frac{2}{(x+1)(x-5)}$

分母が異なる分数式の加法と減法

分母が異なる分数式の加法や減法は、通分してから計算する。

$$\leftarrow \frac{1}{2} + \frac{2}{3} = \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{7}{6}$$

10

●分母が異なる分数式の加法や減法を計算してみよう。

例 11

$$\begin{aligned} & \frac{1}{x+1} - \frac{2}{(x+1)(x+3)} \\ &= \frac{x+3}{(x+1)(x+3)} - \frac{2}{(x+1)(x+3)} \\ &= \frac{(x+3)-2}{(x+1)(x+3)} \\ &= \frac{x+1}{\cancel{(x+1)}(x+3)} \\ &= \frac{1}{x+3} \end{aligned}$$

15

← 約分できるときは約分する。

問 12 次の式を計算しなさい。

→ p.17 復習問題⑦

(1) $\frac{2}{x+1} + \frac{1}{x+2}$

(2) $\frac{1}{x+3} + \frac{1}{(x+3)(x-1)}$

(3) $\frac{2}{(x+1)(x-1)} - \frac{1}{x+1}$

(4) $\frac{1}{x-2} - \frac{3}{(x-2)(x+1)}$

20

復習問題

□1 次の式を展開しなさい。

(1) $(x-2)^3$ (2) $(2x+y)^3$

□2 次の式を因数分解しなさい。

5 (1) $64x^3-1$ (2) x^3+8y^3

□3 二項定理を利用して、 $(a+b)^7$ を展開しなさい。

□4 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x-1}{x^2-4} \times \frac{x+2}{x^2-1}$

(2) $\frac{x+1}{x^2+3x} \times \frac{x^2-9}{x^2+2x+1}$

10 □5 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x-4}{x+3} \div \frac{x^2-16}{x^2+3x}$

(2) $\frac{x^2-3x-10}{x^2+2x-3} \div \frac{x-5}{x+3}$

□6 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x^2-1}{x+2} + \frac{x+4}{x+2}$

15 (2) $\frac{2x-1}{x^2-3} - \frac{x+5}{x^2-3}$

□7 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{1}{x+2} + \frac{2}{x-2}$

(2) $\frac{1}{x-2} - \frac{1}{(x-1)(x-2)}$

(3) $\frac{7}{(x+3)(x-4)} - \frac{6}{(x-3)(x+3)}$

乗法公式

↩ p.10 例1

因数分解

↩ p.11 例2

二項定理

↩ p.13 例5

分数式の乗法

↩ p.14 例7

分数式の除法

↩ p.15 例8

分母が等しい分数式の
加法と減法

↩ p.15 例9

分母が異なる分数式の
加法と減法

↩ p.16 例11